

G3 のツイッター その 62

烈剛河内 竹井 保満

予告されていた天皇の退位と即位の行事が始まりました。

毎日が休日の老人にとっては、如何に長い連休であっても通常の日々と同じですから、取り上げて十連休がどうのこうのとは申しませんが、我慢が出来ないのは、これでもか、これでもかと、テレビ局も新聞や雑誌まで、昭和や平成の歴史や文化、戦争や災害や事件やスポーツと全く同じような番組や記事には辟易させられました。

退位される陛下には、労をねぎらい即位される天皇には祝意を申し上げればよいと思うのですが。

そんな中でただ一つ、令和の最初の日に、私に鞭を当ててくれる行事がありました。令和元年5月1日、大阪府マスターズ陸上競技会が行われました。この日の為に、週3回ジムに通い筋トレに励んできました。

また、去年の4月に右の肩の手術を受けており、リハビリを続けていましたが、完全に治癒できていないこともあり、一年ぶりの大会出場で、心配と緊張で大会に臨みました。

5月1日の大会当日は、気温17度で雨でした。私は90歳以上の部で、砲丸投げ、やり投げ、ハンマー投げの3種目に出場しました。三種目とも競争相手がなくて金メダルを3個も頂きました。寒さと雨の為に80歳代の方でも棄権されて帰られましたが、私は下着まですぶ濡れになっても最後まで頑張り投げ切りました。

ずぶ濡れになりながらも頑張れたのは、ジムでの筋トレもさる事ながら、元気に生んでくれた母親の遺伝子に感謝しています。NHKのテレビ番組でスペシャル選・人体・神秘の巨大ネットワーク シリーズを録画して観ていますが、人間てなんと素晴らしい動物だと感動しています。

今年も5月の第2日曜日に母の日が巡ってきました。神仏に手を合わさない私ですが、子供の日と母の日は、寝床でお母さん有難うと念じて寝ます。私の母は亡くなる直前まで農家のこまごまとした仕事をこなしていました。母がよく言っていた言葉に「早くお迎えが来て欲しいと言う人がいるが、私は死にたくない」と。

私も今は老人ホームで小さな部屋で暮らしていますが、折角頂いた人生ですから、挑戦できるものを見つけては挑戦して行くつもりです。